

第4回日本放射線事故・災害医学会
プログラム

これからの放射線緊急事態対処 ～過去から学び、未来へ備える～

開催日時：2016年9月10日（土）9:30 - 18:25

開催場所：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

放射線医学総合研究所 講堂

大会長：明石真言

9:00～9:25 理事会

9:30～9:40 開会

大会長挨拶

9:45～11:15 記念講演

「わが国の被ばく医療～来し方行く末～」

座長 量研機構 明石 真言

演者 社会医療法人東明会原田病院 前川 和彦

11:20～12:10 教育講演

「内部被ばく線量評価の考え方と実際」

座長 原子力機構 高田 千恵

演者 量研機構 栗原 治

13:00～13:20 総会

13:20～15:20 シンポジウム1

「新たな被ばく医療体制における関係機関の連携」

座長 国際医療福祉大学 鈴木 元

原子力安全研究協会 山本 尚幸

シンポジスト

- ・ 高度被ばく医療支援センターの活動と課題（仮）

長崎大学 高村 昇

- ・ 原子力災害医療・総合支援センターの活動と課題（仮）

広島大学 廣橋 伸之

- ・ 原子力災害医療拠点病院の活動と課題（仮）

青森県立中央病院 花田 裕之

- ・ 放射線医学総合研究所の活動と課題（仮）

放医研 立崎 英夫

- ・ 線量評価における課題と関係機関の連携（仮）

原子力機構 百瀬 琢磨

- ・ 地域における原子力防災訓練と研修（仮）

原子力安全技術センター 土岐 邦彰

15:30～16:20 特別講演

「国際大型イベントの危機管理 - 2020年の東京オリンピック・パラ
リンピックに迎えるあたり日韓 FIFA ワールドカップを振り返る -」
座長 東北大学 細井 義夫

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 明石 真言

演者 横浜国立大学 野口 和彦

16:30～18:10 シンポジウム2

「**CBRNE テロ・災害での多機関連携**」

座長 災害医療センター 近藤 久禎

福島県立医科大学 谷川 攻一

シンポジスト

- ・ ポストンマラソン爆弾テロ事件（仮）

杏林大学医学部救急医学 山口 芳裕

- ・ 伊勢志摩サミットでの医療体制（仮）

救急救命九州研修所 郡山 一明

- ・ 国民保護法訓練における多機関連携（仮）

茨城県日立保健所 入江 ふじこ

- ・ 日本における危機管理体制の現状と課題（仮）

日本大学 河本 志朗

10:00～18:00 ポスター発表

一般演題を募集（10題程度）

18:15～18:25 閉会挨拶

次期大会長挨拶

18:30～ 懇親会（重粒子治療推進棟食堂）